

ハーバード大学 音楽学部
キャロル・オジャ教授
特別講演

「ソノ・オーサト: 第二次世界大戦下のポリティクス、バレエ、ブロードウェイ」
Sono Osato: Politics, Ballet, and Broadway during World War II

ブロードウェイ・ミュージカル「オン・ザ・タウン」(1944)はレナード・バーンスタインの輝かしいキャリアのスタートでもある。戦後映画化された「踊るニューヨーク」(邦題)は、フランク・シナトラやジーン・ケリーの軽快な踊りと歌で、世界中で大ヒットした。実は舞台版の主役のひとりには日系二世のソノ・オーサトが起用された。彼女は一世を風靡したロシア・バレエ団のダンサーでもあった。第二次大戦下、日系人としてアメリカの舞台で活躍した彼女の芸術活動と家族の物語や、人種混合キャストの舞台の実際など、近年デジタル化されたアフリカ系アメリカ人の新聞や最新の資料を駆使して、新たな枠組みから描き出す。

2017
1/12(木)



キャロル・オジャ Carol Oja
(ハーバード大学音楽学部教授)

21世紀のアメリカ音楽史研究のリーダー的な存在である。アメリカ音楽のトランス・ナショナルでクロスオーバーな独自性を、インタビューや自筆譜の分析など、夥しい量の緻密な実証研究で描いてきた。緻密な資料研究に基づくその独自の視点は1920年代のニューヨークの音楽シーンを描いた大著「Making Music Modern」に結実し、近著「Bernstein meets Broadway」などのミュージカル研究でもその視点は、ジャンルをも超えて人文学各方面に影響を与えている。

日時 2017年 1月 12日 (木) 15:10-16:40 入場無料 (事前予約不要)

会場 C棟 101教室 神戸市灘区鶴甲3丁目11番 発達科学部 キャンパス C棟1階 英語講演・通訳なし ※レジュメ有

対象 学生、卒業生、教職員、一般 お問い合わせ 大田研究室 misaolta@kobe-u.ac.jp
【主催】神戸大学大学院 人間発達環境学研究所